

平成 28 年 5 月 19 日

国土地理院

UAV を用いた熊本城復旧支援のための撮影について

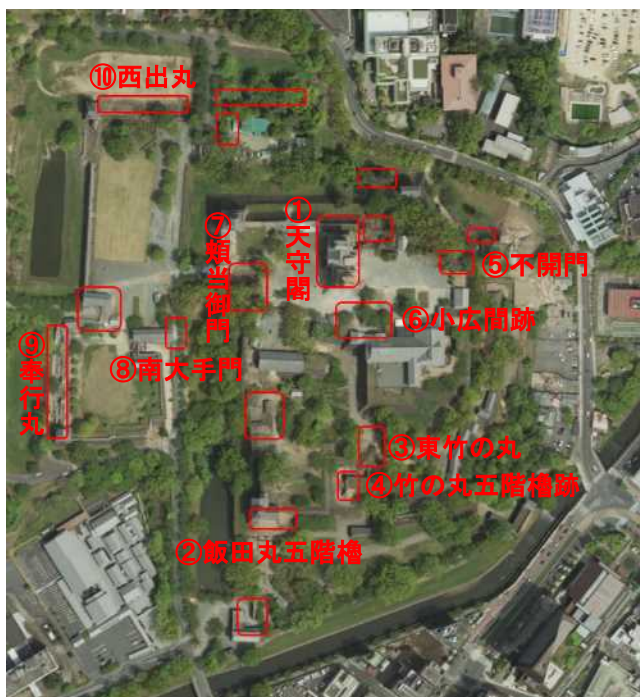
国土地理院は、熊本市からの要請に基づき、熊本城の石垣等の被災箇所を撮影するため、5 月 11 日～13 日まで国土地理院ランドバード（※）を派遣し、UAV を用いて熊本城の撮影を実施しました。撮影画像は熊本市に提供され、熊本城の復旧のための基礎資料として活用されます。

1. 派遣期間

平成 28 年 5 月 11 日～13 日

2. 作業内容

石垣等の被災箇所のうち、熊本市から撮影要望のあった箇所について、熊本市職員の立会いの下、静止画及び動画を撮影しました。撮影画像例は別紙の通りです。



撮影箇所（赤丸のエリア）

※番号の箇所は別紙に撮影画像例あり。



作業の様子

3. 熊本市による成果の活用予定

熊本城の復旧にあたっては、崩れた石 1 つ 1 つに番号付けして管理し、被災前の写真と照合して元々どの場所に使用されていたかを特定する作業が必要になります。今回撮影した画像は被災状況の記録となるとともに、石垣の復旧のための石の番号付けに活用されます。

【国土地理院ランドバードとは】

平成 28 年 3 月に発足した UAV 活用のための国土地理院内横断的組織。平常時は UAV の技術力の確保と向上を行い、i-Construction への対応や公共測量への助言を行う。災害時には UAV による被災箇所の緊急撮影と情報提供を行う。

撮影画像例

①天守閣



国土地理院・熊本市

東側



国土地理院・熊本市

東側の石垣と建物の間



国土地理院・熊本市

西側



国土地理院・熊本市

北側

②飯田丸五階櫓 (いいだまるごかいやぐら)



国土地理院・熊本市

南側



国土地理院・熊本市

東側

③東竹の丸（ひがしたけのまる）



④竹の丸五階櫓跡（たけのまるごかいやぐらあと）



⑤不開門（あかずのものん）



⑥小広間跡（しょうひろまあと）



⑦頼当御門（ほほあてごもん）



⑧南大手門（みなみおおてもん）



⑨奉行丸（ぶぎょうまる）



⑩西出丸（にしでまる）

